

1	公開授業実施日時	2019年2月22日
2	場所	京都教育大学附属桃山小学校
3	対象	6年1組
4	授業者	若松俊介
5	島名	グローバル・イシュー
6	単元名	世界の中の日本
7	関連する教科・領域	社会
8	単元の目標・ねらい	目標・ねらい：
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	<p>目標・ねらい：・環境，貧困，平和などのグローバルな課題について様々な資料をもとに多角的・多面的に考察し，自分なりの考えを持ち，表現することができる。</p> <p>(以下に当てはまるものがあれば，□を■にしてください)</p> <p>■グローバル社会に見られる課題を知る。</p> <p>■社会的な課題に対するさまざまな捉え方があることを理解することができる。</p> <p>■世界の人々とともに生きていくための課題の解決に自分がどのように関わるかを考えることができる。</p> <p>□日本語や外国語によるコミュニケーションを通して，クラスの仲間と関係を構築することができる。</p>
10	単元の評価規準【教科・領域として】	<p>・社会的事象への関心・意欲・態度</p> <p>・我が国の国際交流や国際協力の様子に関心をもち，意欲的に調べている。</p> <p>・世界平和の大切さ，我が国が世界において重要な役割を果たしていることの大切さを考えようとしている。</p> <p>・社会的な思考・判断・表現</p> <p>①我が国の国際交流や国際協力の様子について，学習問題や予想，学習計画を考え，適切に表現している。</p> <p>②国際交流や国際協力の様子，国際連合の働きと平和や発展への人々の願いなどについて調べ，調べたことを比較したり，関連づけたり総合したりして，我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考え，適切に表現している。</p> <p>・観察・資料活用の技能</p> <p>①地図や地球儀，その他の資料を活用したり，聞き取り調査をしたりして，我が国の国際交流や国際協力の様子について，必要な情報を集め，読み取っている。</p> <p>②調べたことを白地図や意見文などにまとめている。</p> <p>・社会的事象についての知識・理解</p> <p>①我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを理解している。</p> <p>②世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを理解している。</p>
11	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	・環境，貧困，平和などのグローバルな課題について様々な資料をもとに多角的・多面的に考察し，自分なりの考えを持ち，表現することができたか。
12	単元計画	≪別紙指導案を参照してください。≫
13	本時の目標	≪別紙指導案を参照してください。≫
14	本時の展開	≪別紙指導案を参照してください。≫
15	グローバル・スタディーズとしての特徴	<p>本単元の学習は，様々な教科での学習が関連付いて成り立っている。各教科での学習時に出てきたグローバルに関する話題が，児童の中で少しずつつながっていくにつれて，自然と「国際的な課題はどのようなものがあるのか。」「国際的な課題をどうすれば解決できるだろう。」といった問いが生まれてきている。それぞれの課題は簡単に解決できるものでもなく，児童にとって全てのことを想像できるものでもない。しかし，児童なりに現状を捉えて，「こうすれば解決していくのでは。」という提案（最適解）を聴き合う中で，もっと知らなければならぬ現状に出会ったり，新たな問いが生まれたりする。こうした問いを子どもたちの日常に残すことによって，これからもグローバルな視野を持って様々な物事に向き合っていくことができると考える。</p>

16 授業者から一言

国際的な問題を解決するための方法を考える過程で、他人事ではなく自分事にしていく姿が見られました。

社会科学習指導案【グローバル・イシュー】

小学校 6年1組

指導者名 小学校 若松俊介

1. 単元名「世界の中の日本」

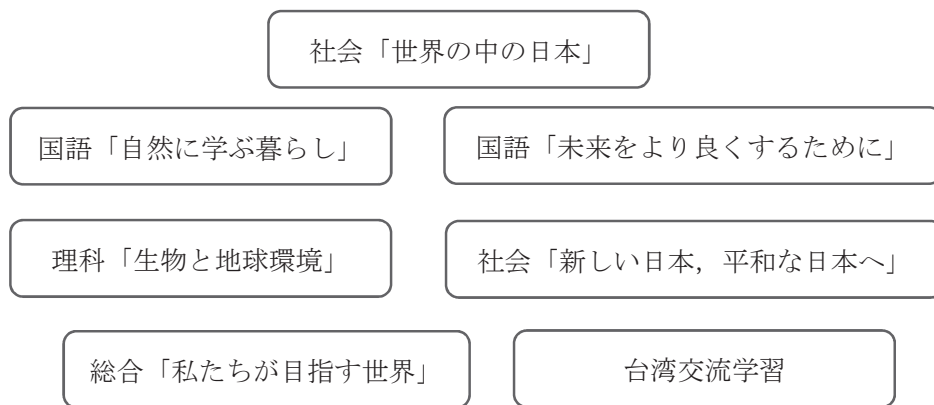
2. 授業の構想

**社会科として**

本単元の学習内容は、我が国と経済や文化などの面をつなぐりの深い国の人々の様子、我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを調べ、世界の中の日本の役割を具体的に捉えることである。平和な国際社会の実現のための我が国の取り組みや人々の思いを学習した上で、児童自身が「自分はいかに生きていくのか」という視点を持って自分の考えをまとめられるようにしたい。

**グローバル・スタディーズとして**

本単元の学習は、下図のように様々な教科での学習が関連付いて成り立っている。各教科の学習時に出てきたグローバルに関する話題が、児童の中で少しずつつながっていくにつれて、自然と国際的な課題についての話題が出てきた。そこから「国際的な課題はどのようなものがあるのか。」「国際的な課題をどうすれば解決できるだろう。」といった問いが生まれてきている。それぞれの課題は簡単に解決できるものでもなく、児童にとって全てのことを想像できるものでもない。しかし、児童なりに現状を捉えて、「こうすれば解決していくのでは。」という提案を聴き合う中で、もっと知らなければならぬ現状に出会ったり、新たな問いが生まれたりする。こうした問いを子どもたちの日常に残すことによって、これからもグローバルな視野を持って様々な物事に向き合っていくことができるだろう。



学習の流れ (全15時間)
日本とつながりの深い国々 (7時間)
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象の4カ国と我が国とのつながりについて、各自が1つの国を調べてまとめる。</li> <li>交流を通して、様々な国に住む人とどのように交流していけばよいか考える。</li> </ul>
世界の未来と日本の役割 (8時間)
<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的な課題(紛争, 環境問題, 限りある資源, 飢えや貧困)を知る。</li> <li>国際的な課題を解決するためにどのような取り組みが行われているかを知る。</li> <li>解決したい課題を選択し、グループごとに「どのように解決していけばよいか」を考える。</li> </ul>

- ・考えた解決に向けての提案を聴き合い、国際的な課題を解決するために必要なことを考える。(本時 6/8)
- ・学習全体をふり返り、より良い国際社会をつくっていくために大切なことを考える。

### 3. 本時の目標

#### 社会科

- ・国際的な課題に対する解決案を聴き合って、持続可能な社会をつくるためにこれからの日本や自分ができることについて考える。

#### グローバル・スタディーズ

- ・環境、貧困などグローバルな課題について自分なりの考えを持ち、表現する。

### 4. 予想される本時の展開

主な学習活動と発問	予想される子どもの姿	学習活動と支援の留意点
<p>1, 今日の学習課題について考える。 ○今日の学習における「自分のめあて」は何ですか。</p> <p>2, 国際的な課題を解決する提案会議を行う。</p> <p>3, 自分のグループに戻って、提案会議で仲間からもらった意見をもとに提案の修正を行う。</p> <p>○提案会議をもとに、どのような修正を行いました(行おうと思っ ています)か。 ⇒状況に応じて、1グループ(貧困)を中心に扱う</p> <p>3, 今日の学習をふり返る。</p>	<p>(例) 貧困</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発途上国に先進国の取り組みを導入して、お金をつくる仕組みを育てればよいのではないか。</li> <li>・余っている衣食を集めて支援する取り組みをもっと増やせばいいのではないか。</li> <li>・今あるものだけで解決するのではなく、新しい仕組みを考えないといけない。</li> <li>・罰的なものだと、結局は守らない人が増えてくる。</li> <li>・問題の真因を一面的にしか見られていなかったのも、もっと問題を深く見て提案を練り直したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの課題解決案を聞き合うことで、何を明らかにしたいかを自分で持てるようにする。</li> <li>・提案を聴き合うことで、お互いに足りない視点を補い合えるようなグループ編成をする。</li> <li>・「自分たちの思いを伝えて終わり」にするのではなく、そこから気になったことや考えたことを出し合って共に解決法を考えていけるようにする。</li> <li>・現状(問題)に対して、様々な見方で考えることで解決法が変化していくことを実感できるようにする。</li> <li>・自分の考えの変化や学習理解をメタ認知できるようにする。</li> </ul> <p>■</p>